

# 予算

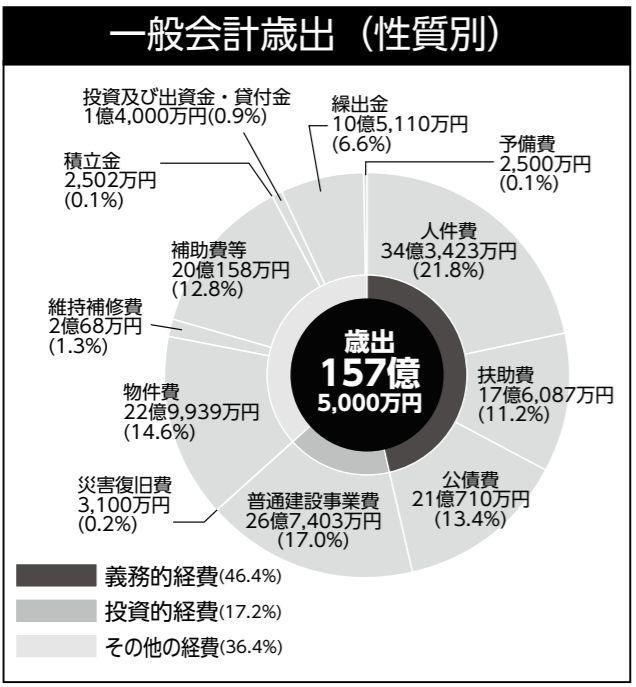
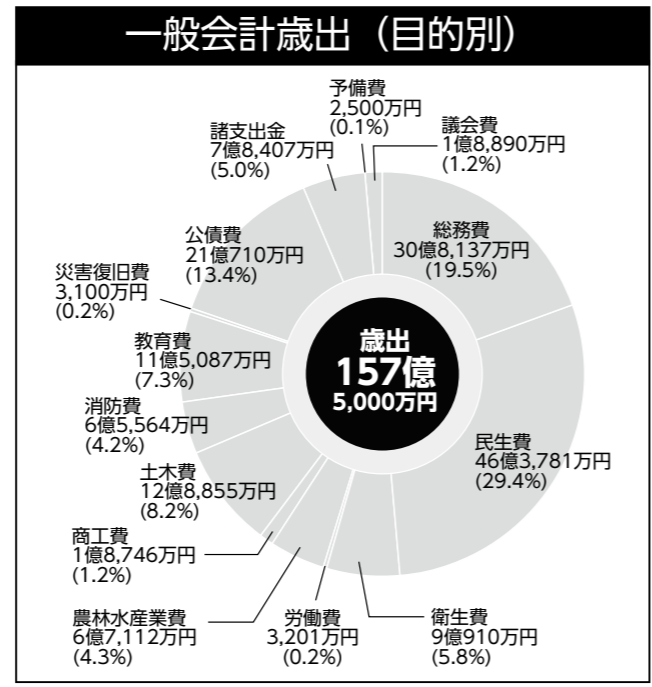
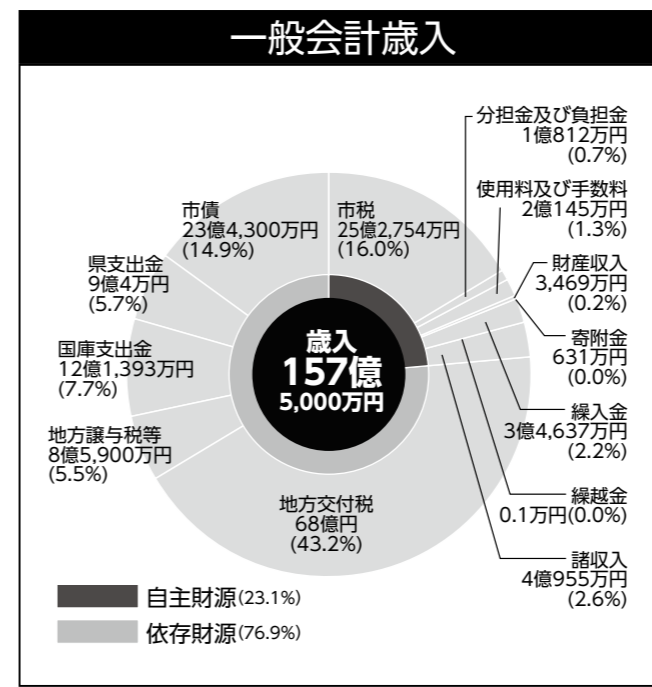
## 未来への種を育む予算

協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじまの実現に向け

平成28年度予算書は、図書館や公民館（江田島、中町、沖美、大柿）で見ることができま

平成28年度の予算が、2月定例議会会で可決されました。一般会計の総額は、前年度比5.2%増の157億5000万円。特別会計・企業会計を含めた総額は、前年度比2.8%増の279億2205万円となりました。

問財政課 ☎(40) 2761



会計別予算				
会計名	平成28年度	平成27年度	比較	
一般会計	157億5,000万円	149億6,500万円	5.2%	
特別会計	国民健康保険特別会計	46億2,200万円	46億5,000万円	△ 0.6%
	後期高齢者医療特別会計	4億6,200万円	4億2,800万円	7.9%
	介護保険(保険事業勘定)特別会計	36億5,600万円	36億3,400万円	0.6%
	介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	1,180万円	2,020万円	△ 41.6%
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,200万円	2,300万円	△ 4.3%
	港湾管理特別会計	4,400万円	4,200万円	4.8%
	地域開発事業特別会計	1億5,300万円	2億800万円	△ 26.4%
	宿泊施設事業特別会計	6,000万円	5,700万円	5.3%
	交通船事業特別会計	2,600万円	300万円	766.7%
	計	90億5,680万円	90億6,520万円	△ 0.1%
企業会計	水道事業会計	11億7,747万円	9億9,173万円	18.7%
	下水道事業会計	19億3,778万円	18億5,372万円	4.5%
	交通船事業会計	- 万円	2億7,593万円	皆減
計	31億1,525万円	31億2,138万円	△ 0.2%	

※企業会計の予算額については、収益的支出と資本的支出の計	全会計(計)	279億2,205万円	271億5,158万円	2.8%
------------------------------	--------	-------------	-------------	------

基金の見込み				
区分	平成27年度末 現在高見込額	平成28年度中増減見込額		平成28年度末 現在高見込額
		当該年度中積立見込額	当該年度中取崩見込額	
財政調整基金	54億4,282万円	1,150万円	3億2,000万円	51億3,432万円
減債基金	9億4,042万円	130万円	- 万円	9億4,172万円
その他目的基金	32億9,237万円	1,222万円	2,037万円	32億8,422万円
一般会計 計	96億7,561万円	2,502万円	3億4,037万円	93億6,026万円

会計別市債の見込み					
区分	平成27年度末 現在高見込額	平成28年度中増減見込額		平成28年度末 現在高見込額	
		当該年度中起債見込額	当該年度中元金償還見込額		
一般会計	181億9,768万円	23億4,300万円	18億9,982万円	186億4,086万円	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	6,096万円	- 万円	1,310万円	4,786万円
	地域開発事業	1億721万円	- 万円	1億721万円	- 万円
	宿泊施設事業	8,558万円	- 万円	4,241万円	4,317万円
企業会計	水道事業	13億9,669万円	8,000万円	1億4,317万円	13億3,351万円
	下水道事業	56億4,549万円	1億660万円	3億6,009万円	53億9,200万円
全会計(計)	254億9,361万円	25億2,960万円	25億6,580万円	254億5,740万円	

▼予算の特徴  
平成28年度の予算は、「第2次江田島市総合計画」の2年目、また、「江田島市総合戦略」策定後初めての予算であり、これまで築いてきた成果を活かし、更なる未来に引き継いでいくことを目指しています。

総合計画の基本構想における10年後の目指す姿「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、引き続き「交流！ 創造！ 実感！」を重点的なテーマと位置付けるとともに、人口問題に対応していくため、総合戦略の重点的なキーワードである「縁」を結ぶ事業を盛り込んでいきます。

今回の予算は、限られた財源の中で、「選択と集中」を徹底しながらも、人づくり・仕事づくりを通じた新たなチャレンジの推進や、景観や危機管理など安全・安心な暮らしの確保、「公共施設のあり方に関する基本方針」に基づく集中的な施設

整備など、将来にわたって活気があり、暮らしやすい「ふるさと江田島市」を構築するためのハード・ソフト両面の取り組みを積極的に盛り込んだ予算です。このことから、「未来への種を育む予算」であると言えます。

▼一般会計の概要  
一般会計は、歳入で国・県支出金や分担金および負担金、使用料および手数料が減収となる一方で、市税や地方消費税交付金、市債などが増となっています。歳入の目的別では、民生費が全体の29.4%、総務費が19.5%、公債費が13.4%となっています。

性質別では、人件費が職員手当や共済組合負担金の増などにより増加、投資的経費は普通建設事業が、庁舎整備事業や公共施設再編整備事業、保育施設整備事業の増により増加、その他の経費はほぼ横ばいとなっています。

▼特別会計・企業会計の概要  
特別会計は、平成27年度と同様に9会計です。特別会計の総額は、90億5680万円（△0.1%）の減となっています。

企業会計は、水道事業および下水道事業の2会計で、2会計全体の収益的支出と資本的支出の計の総額は、31億1525万円（△0.2%）の減となっています。

▼基金の見込み  
平成27年度末および平成28年度末の基金残高見込みは、次ページの表のとおりです。平成28年度では、財政調整基金から財源調整のため、3億2000万円の繰入を見込んでいます。

▼市債の見込み  
平成27年度末および平成28年度末の市債残高見込みは、次ページの表のとおりです。一般会計では、借入額が元金償還額を上回るため、残高が増加する見込みです。

# 平成28年度主な事業 第2次総合計画の施策体系別

<p><b>教育・文化部門</b> ～人が育ち、輝くまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>外国語指導事業【新規】</b> (74万円) 中学生の英語検定検定料に対する支援などを行う。</li> <li>■<b>ICT活用事業【新規】</b> (58万円) モデル校において、情報端末を用いた授業実践の研究を実施する。</li> <li>■<b>江田島市立中学校施設空調設備設置工事【新規】</b> (5,788万円) 市内中学校に空調設備を設置し、環境を整備する。</li> <li>■<b>大柿高校魅力化事業【新規】</b> (100万円)、<b>灘尾基金国際交流支援事業【新規】</b> (40万円) 公営塾の運営や県内外生徒の下宿に要する経費ならびに台湾姉妹校との交流活動経費を支援する。</li> <li>■<b>大柿高校地域学活動補助金【新規】</b> (100万円) 大柿高等学校における「地域学」の学習支援を行う。</li> </ul>
<p><b>産業・観光部門</b> ～元気な産業・観光を生み出すまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>江田島市新規漁業就業者支援事業【新規】</b> (400万円)、<b>新規就農者支援対策事業【継続】</b> (1,640万円) 農業研修の実施や、農業・漁業研修修了者が独立する際に必要な経費を支援する。</li> <li>■<b>実証実験かき小屋補助事業【新規】</b> (500万円) 生産者直営のかき小屋を運営するために必要なハード施設の整備など実証実験を実施する。</li> <li>■<b>オリーブ振興推進補助事業【拡充】</b> (800万円) オリーブの栽培及び6次産業化を推進するため、植栽や商品開発等に関する支援を拡充する。</li> <li>■<b>起業支援事業【新規】</b> (200万円) 市内において新たに起業する中小企業者および新規創業者に支援する。</li> <li>■<b>無料職業紹介所事業【新規】</b> (200万円) 江田島市社会福祉協議会内に、無料職業相談所を設置し、求人事業所と求職者のマッチングを行う。</li> <li>■<b>多言語パンフレット作成事業【新規】</b> (300万円) 本市周辺を訪れる外国人観光客や、本市在住の外国人向けの多言語のパンフレットを作成する。</li> </ul>
<p><b>福祉・保健部門</b> ～健康で安心して暮らせるまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>妊婦健康診査交通費等助成事業【新規】</b> (300万円) 妊婦が、健康診査のために、市外の産科へ通院する際の交通費を支援する。</li> <li>■<b>認定こども園おおがき増築及び大規模改修工事【新規】</b> (3億6,669万円) 認定こども園おおがきの増築および大規模改修工事を実施する。</li> <li>■<b>乳幼児等医療費助成制度【拡充】</b> (3,462万円) 乳幼児等の医療費助成の対象を拡充する。</li> <li>■<b>特定健康診査追加健診事業【拡充】</b> (35万円) 特定健康診査に検査項目の追加とがん検診をセットにすることにより、受診率の向上を図る。</li> <li>■<b>手話奉仕員養成事業【新規】</b> (64万円) 障害者等が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、手話奉仕員を養成する。</li> </ul>
<p><b>生活・環境部門</b> ～生活と環境を守り、高めるまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>海岸漂着物等地域対策推進事業【新規】</b> (499万円) 江田島市の美しい海と海洋資源の保全を図るため、景観及び環境悪化を招く海岸漂着ごみについて、回収・処理を行う。</li> </ul>
<p><b>安全・安心部門</b> ～災害に強く、安心して暮らせるまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>防災情報監視システム事業【新規】</b> (679万円) 避難情報の確かな発令等のため、雨量計及び海面・河川への監視カメラを設置する。</li> <li>■<b>防災行政無線難聴地区解消事業【新規】</b> (38万円) 防災情報や緊急情報をメール配信と同時に、電話機で聞ける自動音声発信サービスを実施する。</li> <li>■<b>AED設置事業所に特化した応急手当普及啓発事業【新規】</b> (43万円) 心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため、AED設置事業所の職員や従業員に対する講習を実施する。</li> <li>■<b>消防力適正配置等調査事業【新規】</b> (486万円) 現有消防力の効果的な運用を図るため、庁舎の配置や必要な消防力などについて総合的な調査を実施する。</li> </ul>
<p><b>基盤部門</b> ～しっかりとした基盤を備えたまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>空き家等意向調査及び空家等対策計画策定事業【新規】</b> (520万円) 修繕が必要な空き家の所有者に、将来の利用に関する意向調査を実施し、空家等対策計画を策定する。</li> <li>■<b>耐震改修促進計画策定事業【新規】</b> (300万円) 地震に対する安全性を高めるため、法改正を踏まえつつ、「江田島市耐震改修促進計画」を改訂する。</li> <li>■<b>公共施設等総合管理計画の策定【新規】</b> (500万円) 公共施設等の適正な管理で財政負担の軽減・平準化や最適配置を検討するための計画を策定する。</li> <li>■<b>庁舎整備事業【継続】</b> (4億7,230万円)、<b>公共施設再編整備事業【継続】</b> (5億4,081万円) 公共施設のガイドライン等に基づき、必要な庁舎の整備や、公共施設の再編整備を実施する。</li> <li>■<b>交通魅力アップ事業【継続】</b> (300万円) 交通事業者が行う、公共交通の利便性の向上や利用者の増加を図る取り組みなどを支援する。</li> </ul>
<p><b>地域部門</b> ～地域が元気で、にぎやかなまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<b>恵み多き島マーケティング事業【新規】</b> (432万円) 「交流人口の増加」のため、専門の人材を登用し、戦略の方向性などの企画・調整を行う。</li> <li>■<b>地域おこし協力隊事業【新規】</b> (1,891万円) 都市部在住の意欲ある人材を「地域おこし協力隊」として登用し、地域の課題解決や活性化を図る。</li> <li>■<b>多文化共生相談員の配置【新規】</b> (290万円) 多文化共生の推進に資するため、外国人市民に対する日常生活上の相談や通訳などを行う相談員を配置する。</li> </ul>



市では、外国人市民が隣人として共に生活していく上で必要となるコミュニケーション能力を身に付ける事を目的とする「やさしい日本語教室」を開催しています。

平成27年度はすでに3回開催（2会場）し、外国人市民を含め延べ約70人が参加しています。

参加者はワークショップを通じて、お互いの理解を深めています。

（問）人権推進課

☎（40）2767

## やさしい日本語教室を開催しています ～興味のある方は是非参加してください～

これまでの参加者数（国別・延べ）

日本	中国	バングラデシュ	インドネシア	ベトナム	ミャンマー	アメリカ	ニュージーランド	計
52人	2人	4人	9人	2人	2人	1人	2人	74人



**やさしい日本語を学ぶ**

第1回目は、やさしい日本語についての概要や、やさしい日本語に言い換える際のポイントなどを学びました。

やさしい日本語の使用は、相手の母国語に関わらず、特別な語学の訓練も必要ありません。ほんの少しの工夫で日本語を言い換えることにより、伝えたいことを相手に伝えることができます。

また、外国人に対してだけでなく、子どもや高齢者に対しても分かりやすく伝えることができます。

このやさしい日本語教室は、お互いに学ぶ場で、これまで気付かなかったことを気付けさせてくれるふれあい（交流）の場です。

**地域の「コミュニティの場へ**

第2回目からは、ワークショップ形式でやさしい日本語を使いながら、インタビュアーなどを行い、コミュニケーションを図る演習を行いました。

参加者からの自発的な広島弁講座も行われて、それぞれの教室の形が作られて、そこに新しい絆が生まれつつあります。

講師を務めている公益財団法人ひろしま国際センターの犬飼康弘さんは、「地域の人でなければ地域で外国人市民をサポートできない。定期的に楽しくこのような場が開けるようになれば、お互いの理解やコミュニケーション、そして明日もがんばろうという気持ちになれる」と話しています。

